

特集

今，学生と共に いのちを考える



MAJOR ARTICLES

東日本大震災とそれに続いて起こった津波により、一瞬にして多くの尊い生命が失われ、同時にたくさんの悲しい別れが生まれました。身近な人との死別のような過酷な経験をしたとき、私たち人はどのような感情を抱くのでしょうか。また、この困難な状況から立ち直り、力強く生きていくためには何が必要なのでしょう。

自分が大切な人を亡くした当事者だったら。悲嘆にくれる友人・知人を目の前にしたら。たまたま近所に住んでいたら。メディア越しに悲しみを見ることしかできなかったら。そして、看護師と患者・家族という関係であったら。

事故や自死、そして病気。さまざまなエピソードにふれることで、改めて「いのち」について考えるきっかけとし、学生への指導に生かしていただければと思います。